

西和辞典

DICCIONARIO
ESPAÑOL-JAPONÉS

高橋正武編

増訂版

白水社

西 和 辞 典 (増訂版)

定価3200円

1958年4月15日初 版 発 行

1979年3月10日増訂版 発 行

1986年1月5日増訂版 8刷発行

編 者 © ^{たか}高 ^{はし}橋 ^{まさ}正 ^{たけ}武

発行者 高 橋 孝

発行所 株式会社 白水社

東京都千代田区神田小川町3の24
101 電話東京(291)7811(代) 振替東京9-33228

組版・研究社印刷株式会社 印刷・開成印刷株式会社
製版・近藤写真製版所 製本・松岳社青木製本所

ISBN4-560-00069-7

まえがき

ひとつの西和辞典ができた。ひとまずこの形で出す。ほんとはもっと小さなものにするつもりだったけれど、書き直したり手入れしているうちに、けっきょく4回手を入れた勘定になるようだが、いづらかまとまったこの体裁になった。見出し語数は、ほぼ68370。

辞典には決定版がない。辞典はそのひとつひとつが試作品であり、過渡的な存在でしかない。われわれは辞典に持ちかねなかった信仰的なものを捨てて、これに絶対性などを要求しない。ひとつの参考意見を求めるだけだ。その意味で、本書も、そうした試みのひとつ。

さいきん、辞典にたいする一般の考え方なり要求が、外国のものを見ても大きく変わって、辞典が単語の意味を伝えるだけでなく、その奥行きにまで立ち入り、あることばのもつ文法的な機能を解説して、生きたものとして取りあつかうようになって来た。本書でも、その線に少しでも近づけたかった。

しかし、対訳辞典であるので、訳語の正確を期したのはもちろんだが、いくつもの平面的な訳語の並列はやめて、その単語のもつ背景と周辺をも語り、そこからでてくる色あいや感じを伝えようとした。単語がもつ情調を、日本語としても出したく、俗語には俗語らしい、詩語には詩語らしい訳語をあてて、配列にも気をつけたつもりではあるけれど、原語のはたらきを考えて、日本語としては、ぎこちない表現や舌足らずな訳語になった点もまぬかれなかった。また一方、同じ目的でもって、できるだけ多くの同意語や用例を取り入れた。ことに用例の採用は、別記のような信用のおける辞典から引くか、ひとつひとつの出所を明らかにできなかったけれど、有名作家や実際の文章から選んで、自分で作ることは控えた。ときに、辞典にふさわしからぬ色づけのある文体が訳文にのぞいたりするのは、そういう原作からの影響が残っているからだ。

用語や用字の点ではたいへん苦労した。辞典のことばは無色無臭、用語は平明で文字は簡素でなくてはいけない。それに本書では、中南米におられる読者のことをも、その点で、考慮に入れて書かねばならなかった。そして、ふだんのことばで、肩のはらない口語で書きたかった。文法の説明でも、術語的な用語はできるだけやめたし、辞典だけにしか現われなような訳語や文語的なものを一切捨てた。もちろん、原則として、当用漢字を使うことにしたけれども、辞書という性質上、はみ出さないわけにいかなかった。だが、たとえ当用漢字であっても、また、ひとつの日本語が、どんなに、いわゆる適訳に見えようとも、それがむずかしいものだったら、容赦しないで切り捨てたし、文字面がきたなければ、内容の多少のぎせいはあっても、思い切った。このため、あるいはかえって、あくの強いものができたかも知れない。

また、わが国の、このことばにたいする需要は、ラテンアメリカを目的とする比重が大きいことから、メキシコをふくめて中南米の語を、できるだけ多くおさめるようにして、それと、イスパニヤ語との関連は、重要なものでは、同意語の形でわかるようにした。しかも、対中南米の関係は、おもに商業貿易の面なのだから、この部門の用語には、とくに注意を払ってはいる。

しかし、なんといっても、ひとりの力にはかぎりがある。たとえば、いまいう商業部門の用語にしても、商業実務の知識をもたないので、専門の人から見れば、素人くさい、ばかげた過まりをおかしているかも知れない。それぞれの部門で、それぞれの不備や不足は多いことだろう。また体裁のうえからも、長い時間をかけて、いくども手を入れたために、かえって、用字なり説明の仕方なりに、統一がとれてない点のあることも、十分知っている。校正の面でも、うにの針みたいに、体中の神経をとがらせた感じで見えたつもりだが、まだまだ誤植の見落としも残っているにちがいない。編者としては、これが精いっぱいだ。そうした不備、不足やあやまりについて、読者の寛容と、さらにご親切なご指摘やお教えを受けることができるならば、ありがたいと思う。そして、少しでもよりよいものにしたい。

この辞典のもとになるものへ手をつけてから、長い年月がたっている。それだけに、ご恩を受けた人は多い。

わたしが東京外国語学校で、このことばの手ほどきをしていただき、その後もずっと教えを受けたのは、金沢一郎先生、永田寛定先生、笠井鎮夫先生、馬場称徳先生、José Muñoz 先生である。早くなくなられた金沢先生へは、その霊へ気持ちだけを手向けるとして、諸先生へ謝恩と敬愛の情をこめて、つたないながらも出来あがったこの仕事を見ていただけるのは、まったく幸福だと思う。はじめから、わたしの仕事のしぶりを見守ってくださった先生がたである。ことにこの書物の切っかけを作ってくださったのは永田先生だった。先生に連れられて、白水社へ行き、そのじぶん編集部には寺村五一氏と話しあったときに始まるのだから、昭和 10 年の春のはずだ。そして、enhebrar までのカードには、先生のお手がいっている。

多くの、そのときそのときの、また長い友情やはげまし、かずかずの好意を受けた。一度は投げ出しそうになったのを引っぱって、出版まで持ってこさせた、変わることはない小川芳男君の友情は、しみじみありがたく、さらに茂木道吉君、また両君を通じてえた立川政光氏のご好意をも忘れてはならない。

しかし、匿名の恩人たちからのおかげも忘れない。自分の新着の辞典を、あなたにはぜひ必要だといって即座に提供し、積極的に助言をしつづけてくれたようなひともある。靴屋さん、学生さん、鋳物工場の工員さん、学校の先生たち、そのうちには故人になった人もある。そういう好意は、この本の中のどこかに、編者にだけしか分らないように、そうっとしのばせてある。一枚のカードには地下たびの跡がついていた。そのぬしが誰であるか分らない。終戦直後、米軍飛行機からの投下物が、原稿を吹っ飛ばした。飛び散った紙切れを辞書の原稿らしいと鑑定して拾い集めてくれたのが、その地下たびの主であるはずだ。もし飛び散ったままだったら...などと思う。

いよいよ追い込みにかかって、全体に目を通していただいた渡辺通訓君は自分のものとして、西和双方に、ことに訳語の文字面整理に当たってくれたし、土壁重信氏からは商業法律方面の語句で、ことにおかげを受けている。町田俊昭君にも、貴重な時間をさかせ、お手伝いを願った。

編集や校正の人たち、高久広氏、泉川壘氏は、まるで物につかれたような動き方で、その骨折りや心労が、どんなものだったかは察しるだけ。ずいぶん苦勞をかけ、てこずらせた。でんとして動かなくなった編者をあやなし、引きずってここまでたどりつかせたのは、その人々であり、その適切な助言や指摘のおかげで、形も内容もすっきりとした。

印刷植字の方の人々にもお礼を申しあげます。グラの広い余白にも書き切れなくなって、校正が貼り紙となり、その両面へ書き込みがはいり、立体的になった。せっかく間違いなく組んでいたものを全部消して、「また相済みませんがよろしくお願いします」と書き添えるようなことも、たびたびあった。そんなグラが返って来たあるとき、目立たない場所に、「全くです、入社当時両眼...現在...〈植字工〉」の鉛筆書きを見たときは、胸をつかれる思いだった。おわびとお礼のしるしに、このことを記しておかねばならない。

昭和 33 (1958) 年 3 月

増訂版について

うえの日付けから、またたく間に 20 年が経っていた。またたく間であつたけれど、世の移りかわりや人の暮らしぎまの変化からいうと、従って、時代の流れに押し流されることばの流転・消長からいうと、それほど短い時間ではなかった。その間に、国内や国外の、それこそ大勢の読者から、親切なご教示やご注意をありがたく頂いた。そして、五指にあまる人がこの書物を通読されているのだ。そうしたご指摘については、版を重ねるたびに、補正を加えてきたが、このたび全編にわたって一応の手なおしをし、新しいことばや新語義・新用法を、できるだけ盛りこむことにした。しかし、なにぶんにも限られた紙面なので、思うにまかせなかったし、欲ばりもしたので、記述や表記の統一を犠牲にしたが、読者の寛恕をお願いしたい。

貴重な資料を寄せてくださった未知・既知の人々のお名前は挙げきれないが、なかでも土肥次郎氏(東久留米)、今川四郎君(横浜)、林一郎さん(八尾)、荒木昭一氏(大津)のみなさん、ことに荒木氏からの、まさに一点一画におよぶ細心かつ莫大なものであった。記して謝す。

昭和 53 (1978) 年 11 月

高橋正武

お願い：本書についてお気づきの点は、編者か出版社へご教示くだされば幸いです。

は ん れ い

見 出 し 語

1. 見出し語とその配列

本書には見出し語として、一般語句のほかに、下のような語句を、つぎのような配列でおさめた。

配列は一般辞典の例によって、1項目ごとに行をあらため、原則として、訳語をふくめて1行におさまるかわずかに はみ出すもののほかは、別項にした。

(1) **同形語** 語形の同じものは、語原、品詞のちがうものでも同じ項目のなかに入れたが、重要なものはそれぞれ別項にした。

(2) **類形語** 語形が似ている語では普通の形のものをまえ、そうでないものをあとに書いた。valido と válido, como と cómo では符号のある形のものが、小文字と大文字とでは、大文字のものがあとまわしになる。

2. 見出し語の種類とあつかい

(1) **固有名詞** 神話や聖書、有名な文学作品に現われる人物名のほか、個人名をも入れて、そのイスペニヤ語の正しい読み方を片かなで示した。英語に対照語があれば〔ing...〕としてこれを入れた。固有名詞が普通名詞として使われるときの意味は、頭文字を〔 〕に入れてそのあとに訳語をつけた。

(2) 人名の愛称語

Paquita *hip.de* Francisca. パキータ：では Paquita が Francisca の愛称語 hipocorístico で、パキータと読むことを示す。

(3) **略語** 略語のなかにふくまれた (/), (.) の符号を考えないで、文字面だけの順序で本文に組み入れる；訳語を入れるときは () のなか。

a/c *abr.de* a cuenta de (内入金として)...

S.A. *abr.de* Sociedad Anónima; Su Alteza.

(4) 接頭辞

(5) 同意語と異形同語

sobornación *f.* = **soborno**. は同意語。

subscribir *tr.* = **suscribir**. は同語異形。

precipitosamente *adv.* (=precipitadamente). では1行におさめるための普通活字。

(6) **不規則な女性形と複数形** 名詞や形容

詞で、単数形とひどく形のちがう女性形や複数形を、つぎのようにして見出し語におさめた。

directriz *adj.f.de* director.

coces *f.pl.de* coz.

(7) **不規則動詞の語幹** 語幹が不規則に変化する動詞では不規則に変わった語幹の大部分を、不定形よりすっかり姿を変えるものは、不規則形をそのまま見出し語とした。

supus-, supusie- → **suponer** 61. では、一応 **suponer** を見ればいいわけだが、その動詞は付録の動詞活用表の動詞番号 61, つまり **poner** と同じ不規則であることがわかる。

3. 見出し語の ()

fárrago (farrago) *m.* では fárrago の形が farrago の形より多く使われることを示す。

hurtadillas (a) *adv.* では、a hurtadillas の成句であることをいみする。

monocero(n)te *m.* では、monocerote と monoceronte とふたつの形があることを示す。このさい n のあるなしによって語順の変わらないときだけ、この便法を使った。

adrede(mente) *adv.* では adrede と adredemente と2種の形があることを示す。

4. 品詞別と語種別

品詞別は、別記略語表の1に見る *adj.m.f.* のような略語を見出し語の直後においた。ひとつの見出し語が他の品詞やはたらきに変わるときは — *m.f.*, — *pl.*, — *intr.* のように — をもって区別し、複雑なものでは行を改めた。

語種別は、略語表の2のような略語をもって明らかにする。

(1) **性別のある語** 名詞・代名詞・形容詞・冠詞など、性別のある語では、つぎのような取りあつかいをする。

azúcar *m.(f.)* 砂糖：では男性としても女性としても使われる género ambiguo の語。

capital *adj.* 1 首の... — *m.* 元金... — *f.* 首都...：では形容詞としても使われ、男性名詞としては「元金...」、女性名詞としては「首都...」のいみのあることを明らかにする。

periodista *m.f.* ...；新聞記者：では、男

女同形で、男の新聞記者にも女のそれにも同じ形が使われる *género común* の語。

un, una art. この語だけは、男性・女性形とも、完全な形で見出し語におさめた。

pescadero, ra m.f. では、男の魚売りが *pescadero*、女のが *pescadera* であり、さらに *pescadera* には、「魚売りの妻」の意味もある。

japonés, sa adj.s. では、「日本の」という形容詞の意味があり、「日本人」という名詞にもなることをいみし、さらに *japonés* は「日本人の男」、*japonesa* は「日本人の女」である。— *m.* によって *japonés* の形が「日本語」になることをいみする。

blanco, ca adj. 形容詞として「白い」；— *m.f.* で「白人の男・女」の名詞になり、— *m.* で *blanco* の形が「白色」の男性名詞となることがわかる。*blanca* の形は「白人の女」であるほかに、別の意味をもつことがありうる。それは *blanca* の形で別項にまわした。

temprano, na adj. では「時期の早い」意味の形容詞であり、— *m.* で「早生ものの田畑」をいみする男性名詞になり、さらに、— *adv.* で *temprano* の形が、そのまま、「定期的に早く」という副詞になることがわかる。

(2) 性・数変化など とくに注意しなきゃならない性変化・数変化については見出し語のつぎ、品詞別の指定のあとに〔 〕にいて示す。

indígena adj. [*m.f.* 同形]

paraguas m. [単複同形]

carácter m. [*pl.* *caracteres*]

(3) 動詞 つぎのような扱い方をした。

buscar tr. 7. 単純な他動詞として「探す、求める」意味であり、この文字面から「探求する」という訳語もただちに出て来るわけだが、7 という番号によって、付録の動詞活用表の動詞番号 7 に相当する注意を要する動詞であることがわかる。これが *buscarse* になるときは、受身動詞として「探される」、相互動詞として「たがい求めあう」意味になることは、文法的知識によって、判明するので、そんなばあいには、いちいち、訳語をつけなかった。

andar intr. 41 もともと自動詞であり、動詞番号 41 の不規則動詞であることを示す。しかし — *tr.* で他動詞にもなり、— *m.* で男性名詞、— *interj.* で間投詞としても使われることがわかる。さらに *~se* によって、代名動詞の形で使われることを示した。

abaratar tr. 番号がついていないので規則動詞であり、他動詞であるが、— *intr.*、*~se* によって、自動詞としても、代名動詞としても「値がさがる」いみに使われることを示す。

patiquebrar(se) tr.(r.) 「骨を折る」という訳語が他動詞としても、再帰動詞としてもあてはまるときだけ、このような便法を使った。

abarracar(se) intr.(r.) 自動詞としても再帰動詞としても、ほぼ同じ意味で使われることを示す。

(4) *~se* の形 この形は、原則としてひとつの動詞の訳語群の最後に、別項として入れた。再帰動詞・受身動詞・相互動詞・無人称動詞などの意味がふくまれるわけだが、訳語や説明をつけることによって、判断させた。

発音とアクセントの符号

1. 発音 イスパニヤ語の読み方は、かなりやさしいので、発音記号などつける必要がない。ただ本書では、*a* の発音は *a* の項で、*g* の読み方は *g* の項でというふうに、それぞれの文字の項で説明をしておいた。

2. アクセントとその符号 *Real Academia Española* はその *Diccionario de la Lengua Española* の第 18 版 (1956) で新しいアクセントの符号のつけ方を採用した。本書もそれに準拠した。そのおもな点はつぎのようである。

(1) *sonreír, oír, embaír, etc.* 2 重母音でないのに不定形では、符号を省いた。

(2) *construído, jesuíta, huímos, etc.* 平らの 2 重母音の形をした場合の *í* を *i* にした。

vió, fué, fé, etc. 品詞・意義別を必要としない単音節語の符号を省いた。

(3) *décimoséptimo, asímismo, ríoplatense, etc.* 接頭辞として使われるときの *décimo, así, río* などの符号を省いた。

(4) *maníaco, austríaco, etc.* 語尾が *-íaco* であるものは、*maníaco* と *maníaco, austriaco* と *austríaco* というふうに、二つの形を採用し、符号のない形を主とする傾向を見せている。

(5) *zahina, buho, mohines, etc.* これまでつけていなかった強弱 2 母音間に *h* のある語の弱母音に、符号をつけることにした。これは不合理と思えるし、したがって普及化があやぶまれるので、本書では、*zahina, zahína; buho, búho* のふたつの形を並記した。

訳語と解説

1. 訳語とその書き方

訳語は1義1訳主義によったが、類義は(;)で区切り、2義以上あるものは(:)で、さらに複雑なものは1..., 2..., 3...の数字をもって訳語群をまとめた。また、[転][隠][医] *Amér. Méx.* などの目立つ略語をも、区別立ての目じるしとして利用した。

その書き方はつぎのようである。

carta *f...* 手紙, 書状: では、場合によって読者は「書簡, 信書, おたより」などに発展解釈されなければならない。

misiva *f...* 書簡, 手紙: のばあいには、その語の感じが「手紙」というより「書簡」という固い感じのことばであるつもり。

acusador, ra *adj...* とがめる(ような): では、「とがめる」という意味と、「とがめるような」という意味。

explicar *tr...* 説明・解説する: では「説明する, 解説する」

celebrador, ra *adj.s.* 賞賛する(者): では「賞賛する」という形容詞と、「賞賛者」という名詞。

cuadrilátero, ra *adj.m.* 4 辺形(の): では形容詞として「4 辺形の」という意味と, *cuadrilátero* が男性形で「4 辺形」という意味になることを示す。

acusón, na *adj.s.* 告げ口や(の): では *acusón, acusona* の形が「告げ口やの」という形容詞になり; それぞれの形で「男の告げ口や, 女の告げ口や」の名詞が出て来ることを示す。

2. 訳語の配列と指定

訳語の配列では、ふつうの語義をまえにし、転義や特殊な語義をあとにした。複雑なものは、そのさい、[転][方][俗] *Amér. Méx.* のような略語を使ったけれども、転義のばあいは、訳語で判明するので、かならずしも[転]を使っていない。複雑で雑多な語義のあるものは、訳語群のさいごに[雑]としてまとめることにした。したがって、特殊語義・地域語義のばあいは、つぎのような指定になる。

[方] *Méx.* では、見出し語の語義は、イベリヤ半島では方言であり、メキシコでは普通語として使われていることを示す。

[古] *Arg.* では、半島では古語としてしか使われないが、アルゼンチンでは現代語として生

きていることを意味する。

Arg. [俗] では、アルゼンチンの俗語であることを示す。

3. 訳語とその周囲

文法的なことがらは〔 〕のなかに入れて、ある形容詞に付随的な修飾語や前置詞、動詞にとまなう前置詞について説明した。それらの前置詞は用例ではイタリックで注意した。また語の広がりを示す補足的な語句、日本語との機能的な差違による接辞、訳語の意味を明確にするための語などは()を使って、訳語の前後にそえた。さらに、同意語・参照語を()で包み、最後に(:)のあとへ用例をつけた。だから、ひとつの訳語の周囲は、つぎのような形になっている。

〔文法的な説明〕(補足の語句) 訳語 (補足の語句) (=同意語 または →参照語): 用例・成句, [N. 注意事項]。

carado, da *adj.* [bien・mal を前置して] 顔だちのよい・わるい;...

acompañar *tr. ...3* [con, de が示すものを, ...に]添える: *Acompañó el saludo con una sonrisa.*

adoquinado *m.* 石だたみ(した場所); 舗装・舗床。

afectable *adj.* 感じやすい; (病気などに) おかされ易い。

prolongar *tr. 8.* (空間的・時間的に)長くする, 延ばす,...

4. 同意語

同意語は訳語のうしろに(=)でつつむ; また、同意語は訳語群のなかでは、(= 普通活字)の形でおさめたときもある。

acusar *tr...* *Galic.* 表わす(=revelar): では、*acusar* がガリシズムとしての意味が「表わす」であり、それは *revelar* と同義であることを示す。

acumulador, ra *adj. ... m.* 蓄電器 (=eléctrico): では、*acumulador* そのものでもよく、*acumulador eléctrico* とすれば意味がいっそうはっきりすることを示す。

5. 用例

用例は訳語のあとに(:)をつけてから示した。そのとき、見出し語の形そのままのときは

(～), 複数の用例は (～s, ～es) を使った. 注意を要するもの, 女性形に変化したもの, 動詞で活用した形などは, イタリック体で完全な形を入れた. 用例には, 簡単なものには, かならずしも訳語をつけなかった. 訳語をつけるときは () の中に入れた.

acuse m.... 通知: ～ de recibo (受領通知).

acusador, ra adj.... とがめるような: con los ojos **acusadores** (詰問的な目つきで).

6. 熟語・成句

熟語や成句は語の意味の比重の高い項であつかう. 名詞と名詞とのものはまえに出る名

詞の項で, 名詞をふくむ熟語はすべて名詞の項で, 動詞と副詞とのものは動詞の項, 形容詞・副詞と前置詞・接続詞とのものはそれぞれの形容詞なり副詞なりの項であつかう.

簡単な熟語は用例の形で, 訳語群のなかに組み入れた. 複雑な熟語は, つぎの順序で, 訳語群の末尾におく: // [名詞の熟語] // [副詞の熟語] // [動詞の熟語].

熟語群の最初は // で区切り, 最初の見出しの語の完全な形をイタリックで示し, 続くものは見出し語を～で省略した. 1..., 2... の番号で区切った訳語群をもつものでは最後の番号に [熟] として入れた.

略 語 解

1. 欧 文 の 略 語

abr.de abreviatura de (...の) 略字・略語.

adj. adjetivo 形容詞.

adj.f. adjetivo, femenino 女性形の形容詞, またはその形が女性名詞として使われるもの.

adj.m. adjetivo, masculino 形容詞として, またそのまま男性名詞として使われるもの.

adj.pl. adjetivo plural 形容詞の複数形; つまり, 複数形でだけ使われる形容詞.

adj.pl.de adjetivo plural de (...の) 形容詞の複数形.

adj.s. adjetivo, sustantivo 形容詞と名詞.

adj.sup.de adjetivo superlativo de (...の) 絶対最上級の形容詞.

adv. adverbio 副詞; modo adverbial 副詞句.

adv.lat. adverbio latino ラテン語をそのまま取り入れた副詞.

alem. alemán ドイツ語.

Amér. América アメリカ全般のときと, 中米や南米の2・3国またメキシコというふうに, とびとびに使われるばあいとがある.

AmérC. América Central 中央アメリカ.

AmérM. América Meridional 南アメリカ, またはその大多数の国に共通なもの.

Angl. Anglismo 英語系の語, 英語系から取り入れた意味.

Ant. Antillas アンティーリャス列島, つまり西インド諸島.

Arg. Argentina アルヘンティーナ (アルゼン

art. artículo 冠詞. [チン].

aum.de aumentativo de (...の) 示大・増大語.

Bol. Bolivia ボリビア.

Col. Colombia コロンビア.

conj. conjunción 接続詞.

Contr. Contrario, antónimo 反意語; 見出し語または訳語に反対・対照的なことばを [Contr....] として入れた.

CRica. Costa Rica コスタ・リーカ.

Cuba. Cuba クーバ島.

Chile. Chile チレ.

desp. despectivo さげすみ・けいべつの語.

desp.de despectivo de (...の) さげすみ・けいべつ語; その語形.

dim.de diminutivo de (...の) 示小・縮小語.

Ecuad. Ecuador エクワドール.

f. femenino 女性形; 女性名詞; 女性名詞になったときの意味; 女の固有名詞.

f.(m.) femenino (masculino) 女性名詞として多く使われるが, 男性としても使われるもの.

f.pl. femenino plural 女性複数形; 女性複数形のときの意味.

Filip. Filipinas フィリピン.

fr. francés フランス語; frase 成句.

Galic. Galicismo フランス語系の語, フランス語的な意味・用法.

gr. griego ギリシャ語.

Guat. Guatemala グワテマラ.

hip.de hipocorístico de (...の) 愛称語.

Hond. Honduras オンドゥーラス (ホンジュ
ing. inglés 英語. [ラス].

interj. interjección 間投詞; modo interjeccional 間投句.

interrog. interrogativo 疑問語.

intr. verbo intransitivo 自動詞.
intr.(r.) verbo intransitivo (verbo reflexivo)
 自動詞 (また再帰動詞).
it., ital. italiano イタリア語. 「句」.
lat. latín ラテン語; latino ラテン語系の(語)
m. masculino 男性形; 男性名詞; 男性名詞
 になったときの意味; 男の固有名詞.
m.f. masculino, femenino.
m.(f.) masculino (femenino) [性別のある語,
 の項参照].
m.pl. masculino plural 男性複数形; 男性複
 数形になったときの意味.
Méx. México, Méjico メヒコ(メキシコ).
N. Nota 注意; 文法的ないしそのほかの注
 意事項を [N...] の形式でいれた.
Neol. Neologismo 新語, 新しい意味.
Nicar. Nicaragua ニカラグワ.
pa.de participio activo de (...)の能動分詞.
Panamá. Panamá パナマ.
Parag. Paraguay パラグワイ.
pl. plural 複数形; 複数形のときの意味.
pl.de plural de (...)の複数形.
port. portugués ポルトガル語.
pp. participio pasado 過去分詞; 不規則な

過去分詞をもつ重要な動詞には, [pp...] の
 形で, それを示した.
pp.de participio pasado de (...)の過去分詞.
pref. prefijo 接頭辞.
prep. preposición 前置詞; modo preposi-
 cional 前置句.
PRico. Puerto Rico プエルト・リーコ (ポル
pron. pronombre 代名詞. 「トリコ」.
pron.indef. pronombre indefinido 不定代名
 詞. 「代名詞」.
pron.interrog. pronombre interrogativo 疑問
pron.relat. pronombre relativo 関係代名詞.
r. verbo reflexivo 再帰動詞; verbo recíproco
 相互動詞.
Riopl. rioplatense リオ・デ・ラ・プラータ川の
 流域地方, つまりアルゼンチン, ウルグワイ,
 パラグワイがふくまれる.
s. sustantivo 名詞.
Salv. El Salvador エル・サルバドル.
SDgo. Santo Domingo サント・ドミンゴ.
sup. superlativo 絶対最上級.
tr. verbo transitivo 他動詞.
Urug. Uruguay ウルグワイ.
Venez. Venezuela ベネスエラ.

2. 和 文 の 略 語

語種別を表わすものも, 専門・特殊語を表わすものも [] でかこんだ. 略語は常識的なもの
 だけにかぎり, なるべく説明的にした. おもなものは, つぎのようだが, このほかにも [生物]
 [生理], [神学] [神話], [文法], [音声] など, ひとめで明らかなものもある.

[医]	医学	[建]	建築	[天]	天文
[印]	印刷	[古]	古語, 古義	[転]	転義
[隠]	隠語	[鉱]	鉱山, 鉱物	[電]	電気, 電信
[映]	映画	[光]	光学	[動]	動物, 動物学
[化]	化学	[昆]	昆虫	[貝]	貝類
[海]	海事	[詩]	詩語, 詩学	[方]	方言
[解]	解剖	[心]	心理学	[法]	法律
[雅]	雅語, 文章語	[植]	植物, 植物学	[簿]	簿記
[経]	経済	[商]	商業, 貿易	[農]	農事, 園芸
[学]	学術語	[小児]	小児, 幼童語	[まれ]	希用語, 廃語
[楽]	音楽	[宗]	宗教	[紋]	紋章学
[幾]	幾何	[数]	数学	[薬]	薬学
[機]	機械	[聖]	聖書	[理]	理学, 物理
[戯]	戯言, 反語	[船]	船舶	[倫]	倫理
[魚]	魚類	[俗]	通俗語, 卑語	[論]	論理
[空]	航空	[鳥]	鳥類		
[劇]	演劇	[哲]	哲学		

参 考 書 目

1. **参考書目** この辞典に入れる語の範囲は、第1・第2・第5項の線にしたがい、諸書における異同は第3項のものによって正した。アメリカ語については、第7項による。とくに第2項のものについては、その編者から自由な利用を許されたので、新しい用例の多くを取り入れることができたし、新しい行き方の辞書として、その書き方に引きずられた。

また、いくつもの対訳辞典のおかげをうけたが、岩崎民平先生からは、そのご了解をえて「新簡約英和辞典」「ポケット英和辞典」などを、十分に利用させてもらった。

1. *Real Academia Española: Diccionario Manual* e ilustrado de la Lengua Española (Espasa-Calpe, Madrid) 1927 年版, 同 1950 年版。

2. *Samuel Gili Gaya: Vox*, Diccionario general ilustrado de la Lengua Española (Publicaciones y Ediciones Spes, S.A., Barcelona) 1953 年版。

3. *Real Academia Española: Diccionario de la Lengua Española* (Espasa-Calpe, S.A., Madrid) Decimoctava Edición, 1956 年版。

4. *E. Zerolo: Diccionario de la Lengua Castellana* (Casa Editorial Garnier Hermanos, París)。

5. *Miguel de Toro: Pequeño Larousse Ilustrado* (Librería Larousse, París) 1948 年版。

6. *Lisandro Segovia: Diccionario de Argentinismos*, neologismos y barbarismos (Imprenta de Coni Hermanos, Buenos Aires) 1911 年版。

7. *Augusto Malaret: Diccionario de Americanismos* (Emecé Editores, S.A., Buenos Aires) Tercera Edición 1946 年版。

2. この増訂版のために参看した辞典類は、おもに次のようである。

1. *Real Academia Española: Diccionario de la Lengua Española* (Espasa-Calpe, S.A., Madrid) Decimonovena Edición, 1970 年版。

2. *Samuel Gili Gaya: Diccionario General Ilustrado de la Lengua Española* (Bibliograf, S.A., Barcelona) Tercera Edición, 1978 年版。

3. *María Moliner: Diccionario de Uso del Español* (I-II) (Editorial Gredos, S.A., Madrid) 1970-1971 年版。

4. *R. García-Pelayo: Pequeño Larousse en Color* (Editorial Noguer, Barcelona) 1974 年版。

5. *R. García-Pelayo: Diccionario Moderno Español-Inglés Inglés-Español* (Ediciones Larousse, París) 1976 年版。

6. *Tana de Gámez: Diccionario Internacional Inglés-Español Español-Inglés* (Simon & Schuster, Nueva York) 1973 年版。

7. *Marcos A. Morínigo: Diccionario Manual de Americanismos* (Muchnik Editores, Buenos Aires) 1966 年版。

8. *R. García-Pelayo et J. Testas: Dictionnaire Moderne Français-Espagnol Espagnol-Français* (Librairie Larousse, Paris) 1967 年版。

DICCIONARIO

ESPAÑOL-JAPONÉS

A

a *f.* [pl. *aes*] イスパニヤ字母の第1字; 名称は *a* [a:]; 発音はつねに「ア」; una *A* mayúscula (大文字の「ア」); dos *aes* minúsculas (小文字の「ア」2字). [論] 全称肯定命題. [数] 第1既知数. [楽] イ音, イ調. // **a por a y be por be** いちいち, 逐一, こまかく.

a *prep.* [[古] *á*] 1 [人や動物である直接補語につく] ...を: Respetan *a* los ancianos (老人を尊敬する); ¿*A* quién esperas? (誰を待っている?). 2 [向かう点, 目的, 帰着点; 間接補語につく] ...へ, に: Voy *a* la escuela (私は学校へ行く); ¿*A* qué vienes? (何しに来たの?); Le prestaré el libro *a* usted (本をあなたに貸しましょう). 3 [間接補語の別用で] ...から: He comprado estas flores *a* esa niña (この花をその少女から買った). 4 [時間的・空間的な点] ...に, で: *a* las once de la mañana (午前11時に); al día siguiente (翌日に); Te llamaban *a* la puerta (君を戸口で呼んでいた); *Amér. a* la tarde (午後) (=por la tarde). 5 [位置方向を示す] ...に, に当って: *a* mi derecha (私の右側に); *a* oriente (東に当って); ...の方へ (=hacia): José se fue *a* ellos (ホセは彼らの方へ行っちゃった). 6 [観念的な点, 基準点] ...で, の割合で: *a* 5 grados bajo cero (零下5度で); Vendemos *a* cinco pesetas el metro • *a* dos pesos por kilo (1メートル5ペセタで • 1キロあたり2ペソの割で売っている); *a* tres por ciento (3%で). 7 [比較の点] ...に: Eres muy parecido *a* tu tío (君は叔父さんによく似ている); [比較の場合, preferir, preferible, superior, inferior などと使われると] ...に比べて, よりも: Prefiero el té *al* café (私はコーヒーよりもむしろ紅茶を好む); Me es preferible el té *al* café (コーヒーよりも紅茶が好ましい). 8 [配分,

また対句的に]: dos *a* dos (二つずつ); de once *a* doce del día (昼の11時から12時まで); de calle *a* calle (街から街へ). 9 [方法・手段] ...で, を使って (=con): portarse *a* su manera (自分なりに行動する); ir *a* pie (歩いて行く); escribir *a* mano • *a* máquina (筆写する・タイプで打つ). 10 [目的・動機・理由] ...のために (=para): *a* beneficio del público (公益のために); ...によって (=por): *a* instancias mías (私の懇請によって); [よりどころ] ...に従って (=según): *a* ley de Castilla (カスティーリャの法律に従って). 11 [多くの副詞句を作る] *a* bulto (卸しで; 大ざっぱに); *a* oscuras (暗闇で); *a* tientas (手さぐりで); *a* pinceladas (一筆一筆と). 12 [不定形を従えるときは一般に] ...しに, するために: Vengo *a* verle *a* usted (あなたに会いに来た); Salí *a* recibirle (彼を迎えに出た); [aprender, enseñar の類; ayudar, negarse の類は *a* を伴って] ...することを: Le enseñé *a* nadar (彼に泳ぎを教えてやった); [comenzar, echarse の類では] ...し(始める): Comenzó *a* andar (動き始めた); [alcanzar, llegar の類では] ...するようになる: Llegaron *a* saberlo (ついにそれを知った). 13 [*a* + 不定形] もし...した・するならば: *a* decir verdad (ほんとを言えば); *a* no decirme su nombre (もしその名前を言わなかったならば). 14 [*a* + 不定形は命令形の代用]: *A* ver (さあ, お見せ); *A* callar (黙りなさい). 15 [*al* + 不定形] ...した時, ...すると: *al* anochecer (日暮れに); *al* parecer (見たところ); *al* entrar en el cuarto (部屋にはいると).

a- *pref.* 「非」, 「無」を表わす: *anormal* (異常な),

a. *abr. de* área.

[*ateísmo* (無神論).

(**a**) *abr. de* alias; arroba.

@ *abr. de* arroba.

A. *abr. de* Alteza; Aprobado (試験で, 合格).

AA. *abr. de* Autores; Altezas.

aarónico, ca *adj.* = aaronita.

A aaronita *adj.s.* アロン (Aarón, 聖書の人物, モーゼの兄, ユダヤ最初の司祭長)の; その子孫.

ab. *abr. de* abad; abril.

ab- *pref.* 分離・否定・過度を表わす: *abjurar* (主義を捨てる); *abusar* (乱用する).

abá *m. Cuba.* アパー樹, カバ(葉が麻痺剤).

ababa *f.* [植] ひなげし (= *amapola*); ぼんやり者.

ababán *m. Amér.* [植] またぎ(Y字状の枝が出るので支柱に使う木). 「ら科の木.

ababangay *m.* [植] (フィリピン産の)のうぜんかず

ababuy *m.* [植] 南米産の梅の一種.

abacá *m.* [植] (フィリピン産の)いとばしょう, 糸芭蕉; マニラ麻, マニラヘンプ (= *fibra de ~*).

abacería *f.* 食料品店.

abacero, ra *m.f.* 食料品店主.

abacial *adj.* 修道院長の; 神父の (→ *abad*).

ábaco *m.* (子供が数を学習する) 十玉そろばん, そろばん; (玉突きの)点数盤 (= *tablero*); 計算器, 計算板, 計算図表; [建] 冠板, 頂板(柱頭の一部). [鉦] 洗鉦おけ.

abacorar *tr. Amér.* 責める (= *acosar*); 攻める. *Cuba.* 襲いかかる, おそう (= *sorprender*); 追いつめる, 包囲する; やっつける; 困惑させる, 混乱させる. — *intr. Cuba.* (踊りのとき)邪魔しに寄っていく.

abad *m.* 修道院長; 神父. [方] 住持, 教会つき神父・僧 (= *cura*).

abada *f.* [動] さい, 犀 (= *rinoceronte*).

abadejo *m.* [魚] たら (= *bacalao*). [鳥] きくいただき; みそさざい. [虫] はんみょう (= *cantárida*).

abadengo, ga *adj.* 修道院長の; 神父(*abad*)の; 僧院の: *tierras abadengas* (寺領). — *m.* 寺領主 (= *abadía*).

abadernar *tr.* [船] 綱でしめる, くくりつける.

abadesa *f.* 尼院長, 院長尼.

abadesal *adj. Chile.* = *abacial*. 「僧院.

abadía *f.* 修道院長の職・管区・任期; 修道院.

abadiado, abadiato *m.* = *abadía*.

ab aeterno *adv. lat.* 大昔から, 太古から.

abagó *m. Col.* 選り出した一部.

abajadero *m.* 下り坂, 斜面 (= *cuesta*).

abajamiento *m.* 下げること, 下がること; 値下がり, 下落. 「下がる, 低くなる.

abajar *tr.* [まれ] 下げる, おろす (= *bajar*). — *intr.* ~ *se PRico.* [俗] 臭い, くさく匂う.

abajeno, ña *adj.s. Arg. Bol. Méx. PRico.* 低地帯・海岸地方の; その地方人.

abajera *f. Arg.* 鞍下(馬具).

abajino, na *adj.s. Chile.* 低地帯・北部地方の; その地方人. [Contr. *arribano*].

abajo *adv.* 1 下に: *de ~* (下側の); *Oyese ~ ruido* (下の方で物音がする); *Está ~* (下にある). 2 下へ: *rodar de arriba ~* (上から下へ転げる); *río ~* (川下の方へ); *echar ~* (くずす, 倒す); *venirse ~* (崩壊する, 倒れる). — *interj.* くだばれ, やっつけろ! 「る; おろす, やっつける (= *aballar*).

abalallar *tr. Cuba.* (草木を)たわめる, 吹きなびかせ

abalanzar *tr.* 9. つりあわせる, 同じにする, つりあ

いを取らせる; 投げつける.

~ *se* 飛びかかる, 突進する: ~ *se a los peligros* (危険に立ち向かっていく). *Arg.* (馬が)棒立ちになる; 跳ねまわる.

abalar *tr.* (牧群を)導く, さそい込む (= *aballar*). [方] ゆさぶる; 移動させる. 「trado).

abalaustado, da *adj.* らんかん形の (= *balaustado*). **abaldonadamente *adv.*** 侮辱的に, あしざまに.

abaldonar *tr.* 侮辱する (= *ofender*).

abalear *tr.* (麦などを)掃きわける. *Amér.* 射撃する, 掃射する (= *tirotear*).

abaleo *m.* (麦などの)掃きわけ; (それに使う)ほうき.

abalizar *tr.* 9. (港口などに)標識(*baliza*)をつける; 標識灯で滑走路を示す. ~ *se* 自船の位置を測定

abalorio *m.* ナンキン玉, ビーズ. 「する.

abaluartar *tr.* (...に)障壁(*baluarte*)を設ける.

aballar *tr.* 降ろす; やっつける. [方] (牧群を)連れていく; 移動させる; (土地を)掘り返す, 柔らげる. [画] (色を)暗くする, ぼかす.

aballestar *tr.* (綱などをびんと)張る.

abanar *tr.* あおぐ, 扇ぐ.

abandelizar *tr.* 9. = *abanderizar*.

abanderado *m.* 旗手, 旗持ち. 「籍証明.

abanderamiento *m.* (外国船の)船籍登記・船

abanderar *tr.* (外国船を)船籍に入れる・登記する; 船籍証明をする. *Amér.* (団体などに)標旗を

与える; 旗じるしをかかげる: *abanderado de un ideal* (ある理想を高くかかげた).

abanderizar *tr.* 9. 組・徒党に分ける, 分裂させる. ~ *se* 組・徒党をつくる; (党などに)荷担する.

abandonado, da *adj.* 1 捨てられた; 孤独な, 身寄りのない. 2 投げやりな, 不精な (= *descuidado*); きたならしい (= *sucio*). 3 [宗] 光明派の (= *alumbrado*). 4 *Perú.* 軽薄な.

abandonamiento *m.* [まれ] = *abandono*.

abandonar *tr.* 1 捨てる, 放棄・遺棄する; 見捨てる. 2 なおざりにする, 無視する: ~ *las reglas de cortesía* (作法を無視する). 3 後にする. 4 まかせる.

~ *se* やけになる; 身をまかせる: ~ *se a la suerte* (運命に身をまかす); (悪徳・感情に)おぼれる.

abandonismo *m.* (植民地などの)放棄主義.

abandonista *adj.s.* 放棄主義の(者): *política ~* (放棄政策).

abandono *m.* 1 放棄: *hacer ~ de* (...を放棄する). 2 投げやり; やけ, 自棄. 3 心安さ: *con ~* (心おきなく); 頼りなさ. 4 [宗] 神の摂理にまかせること: *hacer ~* (摂理にまかせる). 5 安楽.

abanicar *tr.* 7. 扇などであおぐ; 虐待する, ひどいめにあわせる (= *maltratar*).

~ *se* 自分で扇をつかう.

abanicazo *m.* 扇で打つこと, その音; 大扇.

abanico *m.* 扇, うちわ; 扇風器 (= *ventilador*); 扇形: *en ~* (扇形に). [隠] 刀, サーベル; (マドリッドで)独房. // ~ *de culpas* 告げ口や, 密告や. ~ *de chimenea* 風よけ(つい立て). **parecer ~ de tonta** やたらに動きまわる.

abanillo *m.* (昔の)ひだ襟; 扇, うちわ.

abanino *m.* えりひだ(胸あきにつけた婦人の服飾).

abaniqueo *m.* 扇をつかうこと; 大仰な手ぶり.

abaniquería *f.* 扇屋(店・工場).

abaniquero, ra *m.f.* 扇職人, 扇商人.
abano *m.* (取りつけ式の)うちわ, 風おこし; 扇.
abantar *intr.* (湯が)たぎりこぼれる; うねばれる.
abanto *m.* [鳥] はげわし; (一般に)はげわし類の鳥.
 — *adj.* とんまな; 驚きやすい: *toro* ~.
abaos *interj.* そこをどけ. → **abarse**.
abarajar *tr.* *Amer.* 受けとめる.
abaratable *adj.* 値下げできる, 安くできる.
abaratamiento *m.* 値下げ; 物価の下落.
abaratar *tr.* 物価を下げる, 値下げする: *La competencia abarata los géneros* (競争が物価を引き下げる); 値切ってまけさせる. 「(パンの値が下がる).
 — *intr.*, ~*se* 値が下がる: *El pan (se) abarata*
abarbechar *tr.* *Amér.* (土地を)すき返す (=barbechar). 「[方] 木靴.
abarca *f.* (昔の)革わらじ; (ゴム製の)突っかけ履き.
abarcado, da *adj.* 革わらじ (abarca) をはいた.
abarcadura *f.* 抱くこと, かかえること (→ **abar-**
abarcamiento *m.* = **abarcadura**. [car].
abarcador, ra *m.f.* [商] 独占者, 専売者.
abarcar *tr.* 7. 抱く, 抱きこむ, かかえる; (一度に) しょい込む; 包含する (=comprender); (獲物を) とり囲む; (一目で) 見渡す (=dominar). *Amér.* (鳥が卵を)抱く. *Méx.* 独占する (=acaparar).
 ~*se* 一目で見渡せる.
abarloar *tr.* (船を)横づけにする (=barloar).
abarque- → **abarcar** 7.
abarque *m.* *Ecuad.* 一腹のひな鳥.
abarquero, ra *m.f.* abarca の職人・商人.
abarquillar *tr.* じょうご形にする, 反(て)らせる.
 ~*se* 反(て)る, 反りやすい: *Esta tabla se abarquilla* (この板はそりかえる).
abarracar(se) *intr.* (r.) 7. (軍隊が)宿営する.
abarrado, da *adj.* 織りむら・織りきずのある(布).
abarragamiento *m.* めかけ生活, 不義の同棲.
abarraganarse *r.* 不義の同棲をする (=aman-
 cebarse).
abarrajado, da *adj.* *Chile.* ずうずうしい.
abarrajar *tr.* 蹴散らす, 踏み荒らす (=atropellar); 投げる, 投げつける (=abarrar). *Arg.* 受けとめる; 宙で受ける.
 ~*se* *Amér.* つまずく, 倒れる. *Perú.* 墮落する.
abarrajo *m.* *Perú.* ぶつかり, 転ぶこと (=tropiezo).
 // **tonto de** ~ 大ばかな.
abarrancadero *m.* 難路, つまずき場; 障害, 窮地, 困った羽目.
abarrancar *tr.* 7. 谷にする, 荒地にする; 窮地におとし入れる. — *intr.* (=abarrancarse).
 ~*se* 座礁する (=varar); 進退がきわまる; 動きがとれなくなる, 窮地におちいる.
abarrar *tr.* 投げつける; 振る, ふりはなす.
abarraredera *f.* [まれ] ほうき (=escoba).
abarrer *tr.* [まれ] 掃く (=barrer). 「*rrisco*).
abarrisco *adv.* いっしょに, ひっくるめて (=a ba-
abarrotador, ra *m.f.* *Perú.* = **abarrotero**.
abarrotar *tr.* 締める (=apretar); (船や倉庫に荷を)詰めこむ, 満載する. *Amér.* 買い占める (=monopolizar).
 ~*se* *Amér.* (品物が豊富で)値下がりする.
abarrote *m.* (船の)小荷物, 詰め荷. *Amér. pl.* 食料品; 食料品・乾物店: *tienda de abarrotes*.

abarrotería *f.* *AmérC.* 金物店.
abarrotero, ra *m.f.* *Amér.* 食料品店主.
abarse *r.* 除ける. [N. 不定形と命令形とだけで使われる: ¡Abate! そこをのけろ!].
abasi *adj.* アバス家系 (マホメット Mahoma の叔父 Abas の家系, 750-1252 までの王家)の.
abastadamente *adv.* 豊富に.
abastado, da *adj.* 用意した, とりそろえた.
 // **darse por** ~ 満足する. 「品.
abastamiento *m.* 補給, 供給; 補給品, 供給
abastanza *f.* 豊富, たくさん (=copia).
abastar *tr.* = **abastecer**. ~*se* 満足する.
abastardar *intr.* 退化する (=bastardear).
abastecedor, ra *adj.* (とくに食料品などを)供給する. — *m.f.* 供給・補給者; 御用商人.
abastecer *tr.* 31. (...に食料・必需品を) 補給・供給する: ~ *de víveres una guarnición* (守備隊に糧食を補給する). ~*se* [de を伴ない, ...を] 用意・準備する, 貯える, 調達する.
abastecimiento *m.* 補給, 供給; 調達; 糧食.
abastero *m.* *Amér.* (野菜・果物などの)仲買商人 (=abastecedor). *Chile.* (肉牛の)牛買い人. 「ける.
abastionar *tr.* (城壁などに)稜堡 (bastión) を設
abasto *m.* 必需品, 必要品; [おもに *pl.*] 糧食: *inspección de abastos* (食品検査); 刺繍の埋め草. // **no dar** ~ 必要なだけ与えられない: *No le doy abasto* (あの子に十分なことがしてやれない).
abatanado, da *adj.* たたき上げた, 経験の深い, 熟練した: ~ *en el negocio*. 「たたく.
abatanar *tr.* (布を batán で)搗(つ)きさらす; うち
abatado, da *adj.* *Arg.* [俗] 恥ずかしがった.
PRico. ずんぐりむっくりな (=rechoncho).
abate *m.* (外国, とくにフランス・イタリアの)僧侶.
ábate *interj.* 退(り)けろ. (→ **abarse**).
abatí *m.* *Arg.* とうもろこし (=maíz); それの焼酎.
abatible *adj.* 折りたためる; 打倒できる.
abatida *f.* [軍] 逆茂木(さかき), 鹿砦(しかど) (=tala).
abatidamente *adv.* ぐったりとして; しょげて.
abatidero *m.* 排水溝, 下水, どぶ.
abatido, da *adj.* 卑屈な; しょげた; いくじのない; 人気・価格の落ちた; いたんだ(果物). *Amér.* 見切りの(値段・品物). — *m.* *Cuba.* 一束の板.
abatimiento *m.* 衰え, 衰弱; 気落ち, 落胆, しょげ返り (=desaliento); 恥じること. [海] [航空] 風落, 偏流, 航差; 漂流.
abatir *tr.* 1 倒す: ~ *un árbol*. 2 下げる, 降ろす: ~ *la bandera* (旗を降ろす), ~ *una perpendicular* (垂線を引く); とり除く. 3 屈伏させる, やっつける (=humillar); がっかりさせる, 落胆させる, 気落ちさせる. 4 値切る. 5 (機械などの調子を下げる, おとす. — *intr.* (船や飛行機が進路から)それる, 偏流する (=derivar): *La nave abatía a la derecha* (船は進路が右にふれた); ~ *sobre babor* (風下へ進路を変える).
 ~*se* 1 倒れる. 2 衰弱する, 消衰する: *Se abatía por la enfermedad* (病気で衰えきった); しょげる, ぐったりとなる: *Se abatía de espíritu* (意気がくじけた). 3 不調・不振になる. 4 (猛鳥が)舞い降りる・とび降りる. 5 (潮が)ひく.
abatis *m.* *Galic.* = **abatida**.
abatismo *m.* 僧侶の権力; 僧侶たち (=abates).

abatojar *tr.* [方] (豆などを棒などで)たたく、こなす。
abatollar *tr.* = **abatojar**. [forme).
abayado, da *adj.* 漿果(ぶどうなど)状の (=baci-
abayuncar *tr.* 7. *Cuba.* 打ちのめす、攻めたる、
 傷つける; しぼりつける。
abazón *m.* [動] (猿・こうもりなどの)頬袋。
abderitano, na *adj.s.* アブデラ (I Abdera, 現在の Balastra, 昔のトラキヤ Tracia の港市。2 イスパニヤの現在の Adra) の; その人。[書。
Abdías *m.* [聖] ユダヤの小予言者の一人; オバデヤ
abdicación *f.* 退位, 讓位; (主義などの)放棄。
abdicar *tr.* 7. 退位・讓位する: El rey *abdicó* la corona en su hijo; *Abdicó* en su hijo (王は王位をその子に讓った); (主義などを)すてる, 放棄する。— *intr.* *Neol.* [de を伴ない, ...を] 捨てる: *Abdiqué* de los principios.
abdicativo, va *adj.* 退位・讓位の; 放棄の。
abdomen *m.* 腹, 腹部; つき出した腹。[腔)。
abdominal *adj.* 腹の, 腹部の: cavidad ~ (腹
abducción *f.* [生理] 外転: ~ del brazo, ~ del ojo. [論] 不明推測式。[culo ~).
abductor *adj.* 外転の。— *m.* 外転筋 (=mús-
abecé *m.* 字母, 字母表: ~ telegráfico (電信用文字符号); 初歩の知識, いちいちの字: no entender · saber el ~ (なんの知識もない)。
abecedario *m.* 字母, 字母表。= **alfabeto**.
abedul *m.* [植] かば, 樺。
abedulillo *m.* [植] つのぎ, 角木。
abeja *f.* [昆] 蜜蜂。[天] 蠅座 (=Mosca). // ~ albañila 左官蜂(地蜂の一種)。~ carpintero 大工蜂(熊蜂の一種)。~ machiega · maestra · reina 女王蜂。~ neutra · obrera 働き蜂。[A-) [天] は
abejar *m.* 蜜蜂の巣箱。= **colmenar**. [え座。
abejarrón *m.* [昆] まるはな蜂。
abejaruco *m.* [鳥] はちくい鳥。
abejeio *m.* ざわめき, 騒ぎ。[(=toronjil).
abejera *f.* (=abejar). [植] メリッサ, 香水はっか
abejero, ra *m.f.* 養蜂家。— *m.* はちくい鳥。
AmérC. 蜜蜂の大群。
abejón *m.* (蜜蜂の)雄蜂 (=zángano); おおくまばち。CRica. コーヒー豆の皮; 芽の出たコーヒー豆。// *hacer* ~ CRica. ひそひそ話をする, 耳うちをする。*Venez.* (講演者などを)ひやかす。
abejonear *intr.* *Amér.* (ぶうんと) うなる (=zumbar); ひそひそ話をする。
abejorreo *m.* 蜜蜂などの羽音; どよめき, 遠い人
abejorro *m.* [昆] かなぶん; まるはな蜂。[声。
abejuela *f.* *dim.de* abeja.
abeyuno, na *adj.* 蜜蜂の。[第2子)。
Abel *m.* [聖] アベル(兄の Caín に殺されたアダム)
Abelardo *m.* アベラルド。[ing. Abelard)
abelmosco *m.* [植] とろろあおいもどき, オクラ。
abellacarse *r.* 7. 卑劣なまねをする, ばかになる。
abellota *f.* [古・俗] どんぐり (=bellota).
abellotado, da *adj.* どんぐり形の。
abemoladamente *adv.* 甘ったるく, 猫なで声で。[mol) する。
abemolar *tr.* (声を)やわらげる。[楽] 変調に(=be-
abencerraje *m.* グラナダ (Granada) 王国の大氏族アベンセラヘス家 (los Abencerrajes) の
abenuz *m.* [植] こくたん, 黒檀 (=ébano)。[一人。

aberenjenado, da *adj.* なすび (berenjena) 色
abernardarse *r.* 激昂する。[の; なす形の。
aberración *f.* 錯誤, 逸脱, 倒錯; 精神錯乱 (= ~ mental). [光学] (レンズの)収差: ~ cromática (色収差); 光行差。[生物] 変形, 異状。
aberrar *intr.* 道にまよう, 踏み誤る (=desviarse);
aberrear *tr.* *Perú.* 怒らせる。[さまよう。
abertal *adj.* 亀裂しやすい(土地); あけ放しの(土地)。
abertura *f.* 1 穴, 口; 空気孔; 隙間, 割れ目, 亀裂; (はさみ・ペンチなどの口の)開(き)。2 入江 (=ensenada)。3 (山間の)開豁地。4 (遺書などの)開封。5 ざっくばらん, あけすけ (=franqueza).
abesana *f.* 畦立て, うね (=besana)。[→ **abrir**.
abestiado, da *adj.* 野獣・畜生のような。
abestiarse *r.* 11. 野獣のようになる, 乱暴になる。
abéstola *f.* (鋤の)へら。
abetal, abetar *m.* もみ・樺の林。
abete *m.* = **abeto**.
abetina *f.* [化] アビエチン。
abetinote *m.* もみの樹脂。
abeto *m.* [植] もみ, 樺 (= ~ blanco): ~ rojo del Norte · falso (えぞまつ = picea).
abetunado, da *adj.* チャン・瀝青まがいの; 靴墨
abetunar *tr.* 靴墨を塗る。[のような。
abey *m.* [植] アベイ樹 (=jacarandá).
abg.º *abr.de* abogado.
abiar *m.* [植] たかさごきん草(カミツレの類)。
abichado, da *adj.* *Arg.* 皮膚のただれた(牛馬)
abicharse *r.* *Amér.* (果物などに)虫がつく; (傷口などに)うじがわく。
abieta *f.* [古] くり, すき間, 穴 (=abertura). *Col.* 馬が急に動くこと。[公然と。
abiertamente *adv.* ひろびろと; ざっくばらんに;
abierto, ta *adj.pp.de* abrir. 1 あいた, 開いた。2 広々とした: campo ~ (広野); a cielo ~ (野天で)。3 開放的な, 自由な: puerto ~ (自由港)。4 無防備の: ciudad abierta (無防備都市); 無蓋の, デッキのない(船)。5 腹藏のない; 真摯な (=sincero)。6 (活字などの)太い, 肉太な。7 理解力・包容力のある, がまんできる。— *m.* *Col.* 耕地。— *adv.* ざっくばらんに; 公然と。
abietáceo, a *adj.* = **abietíneo**.
abietíneo, a *adj.* [植] もみ・樺属の。— *f.pl.*
abietino *m.* = **abetinote**. [もみ属。
abigarrado, da *adj.* 配色の悪い, ごてごてとした: figuras *abigarradas*; ごたまぜの, 脈絡のない: un discurso ~, libro ~.
abigarrar *tr.* (色を)塗りまぜる, ごてごてと塗る。
abigeato *m.* 家畜窃盗。
abigeo *m.* 家畜盗人。
abigotado, da *adj.* ひげを生やした, ひげの大きな。
abijar *tr.* *Col.* (犬を)けしかける。
ab initio *adv.lat.* 最初から; 大昔から。
ab intestato *adv.lat.* 遺言なく: morir ~. // *estar* ~ うっちゃらかしてある。
abintestato *m.* 無遺言死者の遺産の法的処理。
abiogénesis *f.* [生] 自然発生(説)。
abipón, na *adj.s.* アビポン族(南米パラナ川 el Paraná 付近の原住民族)の; その人。
ab irato *adv.lat.* 怒りにまかせて, 思慮もなく。
abirritación *f.* [医] 刺激緩和; 緊張低下。

abirritar *tr.* (刺激を)緩和させる。
abisagrar *tr.* 蝶番(bisagra)をつける。Chile. (靴
abisal *adj.* = **abismal**. [を]みがく。
abiselar *tr.* そぐ, 斜めに切る。→ **bisel**.
abisinio, nia *adj.s.* アビシニヤ (Abyssinia) の; ア
 ビシニヤ人。— *m.* アビシニヤ語。[物]; 深い。
abismal *adj.* 深淵の, 深海の: flora ~ (深海植
abismar *tr.* 沈める; 深める; 困らせる, 惑わせる。
 ~se 考え込む; 思いに沈む, 沈潜する; 当惑する,
 困惑する。Amér. 驚く; 感歎する。SDgo. (健康
 など) 衰える。
abismático, ca *adj.* 深い深い; 測りしれない。
abismo *m.* 深淵, 深海; 奈落, 地獄; 底しれない
 奥深さ: ~ de crueldad; 隔たり, ちがい。
abitaque *m.* 角材 (=cuartón).
abitar *tr.* (鉛網などを) もやい柱につなぐ。
abitón *m.* (船の綱を巻きつける) もやい柱。
abiyelar *tr.* [隠] 持つ, 持っている (=tener).
abizcochado, da *adj.* カステラのような。
abjuración *f.* 誓絶; 信仰・主義の放棄。
abjurar *tr.* (信仰を) 誓絶する; (主義を) 捨てる。
 — *intr.* 離れる; [de を伴って, ...を] 捨てる。
abl., Abl. abr. de abril.
ablación *f.* 剝離, 除去; 切断。
ablactación *f.* 乳離れ, 離乳。
ablactar *tr.* 離乳する。[に] 立たないやつ。
ablandabrevas *m.f.* [単複同形] でくのぼう, 役
ablandador, ra *adj.* やわらげる, なごめる。
ablandahigos *m.f.* = **ablandabrevas**.
ablandamiento *m.* 緩和, 軟化。
ablandar *tr.* 柔らかくする; 軟らかくする, ゆるめる; 下
 痢させる (=laxar): Las ciruelas *ablandan* el
 vientre (梅を食べると腹がゆるくなる); なだめる。
 — *intr.*, ~se 柔らかく; 軟らかくなる; (寒さなどが)
 ゆるむ: El invierno *ablanda*; 弱まる: Se
ablandó el vendaval.
ablandativo, va *adj.* 緩和・軽減の; 柔らかいの。
ablandecer *tr.* 31. 軟らかくする。 (=ablandar)
ablaqueación *f.* (立木の周囲の) 灌水溝・穴。
ablativo *m.* [文法] 奪格 [前置詞 con, de,
 desde, en, por, etc. と使われた名詞の使い方].
 // ~ **absoluto** 奪格独立句: [例] *Dicho esto,*
calló (こう言ってから口を閉じた); *Hablando se*
entiende la gente (話せば分る); *Agraviado,*
tuvo que defenderse (侮辱を受けたから, 身を守
 らねばならなかった).
ablefaria *f.* [医] 眼瞼欠除。[の] 使節。
ablegado *m.* 新任枢機卿へ法帽を持参する法王
ablepsia *f.* [医] 失明, 盲目 (=ceguedad).
ablución *f.* 沐浴 (=lavatorio): la ~ matinal;
 水ごり。[宗] 洗淨, 洗淨式(ミサで聖水とぶどう酒
 で指さきを清めること)。— *pl.* 洗淨に使った水:
sumir·consumir las abluciones (洗淨水をいた
 だく・飲む).
abluyente *adj.* 洗淨の。— *m.* 洗淨剂。
abnegación *f.* 自己放棄・犠牲, 自制, 忍従。
abnegarse *r.* 19, 8. 身を捨てる・忘れる, 献身す
abniegue- → **abnegar** 19, 8. [る].
abobado, da *adj.* ばかのような, ばかになった。
ab.º *abr. de abonado.*
abobamiento *m.* 愚鈍, 呆然(となること).

abobar *tr.* 愚かにする。~se ぼける。
abocadear *tr.* 噛みつく; かじる, かじり取る。
abocado *adj.* 口あたりのよい: vino ~.
abocanar *intr.* 雨がやむ。
abocar *tr.* 7. (口に) くわえる; 近よせる; 注ぎ入れ
 る。— *intr.* (船が狭いところに) 入る: La nave
abocó en el estrecho. ~se 近よる: Se vio
abocado al peligro; 談合する。
abocardado, da *adj.* 口径の大きい; ラッパ形の。
abocardar *tr.* (穴などの) 口を広げる。
abocardo *m.* [鉦] 穿孔器 (=alegra).
abocatero *m.* [植] = **aguacate**.
abocelado, da *adj.* 丸レール (=bocel) 形の。
abocelar *tr.intr.* うつ伏せに倒す・倒れる。
abocetado, da *adj.* 素描的な(絵)。→ **boceto**.
abocetar *tr.* 素描する, スケッチする。
abocinado, da *adj.* ラッパ形の; 前かがみの(馬).
abocinar *tr.* ラッパ形にする。— *intr.* うつ伏せ
 に倒れる。~se Chile. (車軸穴が) 広がる。
abochornar *tr.* 上気させる; 赤面させる。
 ~se 赤面する; (植物が暑気のために) やける。
abodocarse *r.* 7. Méx. こぶ・かたまりができる。
abofarse *r.* Cuba. ふくらむ, はれる。
abofetear *tr.* (連続的に) 平手で打つ・なぐる。
 Chile. げんこでなぐる。[の] 勉強をする).
abogacia *f.* 弁護士職: estudiar ~ (弁護士
abogación *f.* [俗] = **abogacia**. 「する女。
abogada *f.* 女弁護士; 弁護士の妻; さしで口を
abogadear *intr.* さし出がましく口を出す。
abogaderas *f.pl.* = **abogaderías**.
abogaderías *f.pl.* Amér. 奇弁, 屁理屈: No
 me vengas con ~.
abogadezco, ca *adj. desp.* = **abogadil**. 「の。
abogadil *adj. desp.* 弁護士みたいな, 三百代言式
abogadillo *m. dim. desp. de* abogado. 「と。
abogadismo *m.* 弁護士の越権, さし出がましいこ
abogado *m.* 弁護士; 顧問弁護士: ~ legal (法
 律顧問); 仲介者; おせっかいや。// *abogado de*
pobres 官選弁護士。~ *de sobana* Cuba. 三
 百代言。~ *de secano* 三百代言。~ *del*
diablo [宗] 護教官, 列聖調査検事; あら探しす
 る人。~ *de trompito* PRico 無能弁護士。~
firmón (サインだけする) いんちき弁護士。
abogador *m.* (講社の集まりの) ふれ歩き人。
abogalla *f.* (木の) こぶ。[誰かの] 弁護をする).
abogar *intr.* 8. 弁護する, 代弁する: ~ *por uno*
abohetado, da *adj.* = **abuhado**.
abolengo *m.* 祖先; 門閥; 世襲財産。
abolición *f.* (法令などの) 廃止。
abolicionismo *m.* 廃止・撤廃論; (とくに 18 世
 紀の英国の) 奴隷廃止(論)。
abolicionista *adj.s.* 廃止・撤廃論の; その論者。
abolir *tr.* 廃止・撤廃する。[N. *abolimos, abolís,*
abolía, etc. のように活用語尾に i の残る活用形
 だけが使われる不具動詞].
abolorio *m.* = **abolengo**.
abolsado, da *adj.* 袋になった, 袋状の。
abolsarse *r.* 袋になる, 袋状になる。
abolladura *f.* くぼみ, へこみ。
abollar *tr.* くぼませる。~se くぼむ。
abollón *m.* (頭の) こぶ。[方] 新芽。

abollonar *tr.* 鋌を打つ、打ち鋌で飾る。

— *intr.* [方] 芽を出す。

abomaso *m.* 反芻動物の第四胃。 (=cuajar)。

abombado, da *adj.* ふくらんだ、中高(な)の。

Amér. うすばかな、ぼけた; ほろ酔いの。

abombar *tr.* ふくらませる; ぼかんとさせる。 *Ant.* (湯を)わかす。 (=entibiar)。

~*se* ぼかんとする。 *Amér.* 腐りかける、におい出す; 味が悪くなる。 *Arg. Chile.* 酔う (=embriagarse)。

abominable *adj.* いとわしい、いまわしい、憎むべき;

abominación *f.* 憎悪、嫌忌; いまわしい行為、醜行; 大それたもの。

abominar *tr.* 憎む、いみきらう (=aborrecer)。

— *intr.* [de を伴って、...を] 憎む。

abonadero *m.* *Cuba.* こやし(置き)場、肥料場。

abonado, da *adj.* 信用してよい; 払込み済みの; *Arg.* (教師に)好かれた。 — *m.f.* 予約者、申込み人、払込み者: ~ al teatro; 購読者。 — *m.* 施肥。

abonador, ra *m.f.* 払込みの保証人。 — *m.* 大

abonamiento *m.* = **abono**。 [錐]

abonanzar *intr.* 9. 静まる、風(な)ぐ。

abonar *tr.* 1 (購入品代・借入れ金の)分割払い

金を払う; 入金する: ~ en su cuenta (貴勘定に

入金する)。[簿] 貸記(き)する: *Sírvase abonarme*

su importe en cuenta (その金額を私の貸方勘

定に御記入下さい)。[Contr. cargar]。 2 支払う

(=pagar)。 3 保証する、保証人となる。 4 改善す

る、改良する。 5 (土地を)こやす、施肥する (=fer-

tilizar): ~ la tierra (土地に施肥する)。

— *intr.* (風が)なぐ (=abonanzar)。

~*se* 予約する、前売券を買う、購読を申しこむ:

Me aboné al teatro; ~se a un diario.

abonaré *m.* (受取人貸方へ記入することを約束した) 約束手形 (=pagaré)。

abondo *m.* [方] 豊富。 — *adv.* 豊富に。

abono *m.* 1 申込み、予約: *tomar un ~*; 前金

払込み: *billete de ~* (定期券; 予約入場券);

払込み金: *en abonos* (分割払いで)。 2 *Méx.* 分

割払込み(金)。 3 規約書。 4 肥料 (=fertilizante): ~

artificial (人造肥料), ~ *químico* (化学肥料)。

// *ser de ~* 有効である。

aboquillar *tr.* (器物に)吸い口・出し口をつける。

abordable *adj.* 近づきやすい; 親しみやすい。

abordaje *m.* [海] 触舷戦、衝角戦; 敵船へおど

りこみ。 // *al ~* 接舷して。

abordar *tr.* (船を)ぶつつける; おそう; 企てる; (...

に)取り組む; 接近する。 *Arg.* 検討する。 — *intr.*

接舷する; 衝突する; 敵船におどり込む; 接岸・入

abordo *m.* = **abordaje**。 [港する; 近づく]

aborigen *adj.* 土着の: *plantas aborígenes*。

— *m.* 原住民。 [Contr. alienígena]

aborio *m.* [植] ストローベリー・ツリー。

aborlonado, da *adj.* *AmérM.* = **acanillado**。

aborrachado, da *adj.* 真赤な。

aborrajar *tr.* *Col.* (揚げ物に)ころもをつける。

~*se* (穀類が)早枯れする。

aborrascarse *r.* 7. 荒れ模様になる。

aborrecer *tr.* 31. いう、憎む (=odiar): ~ de

muerte a su vecino (隣人を死ぬほど憎む); 倦ま

せる (=aburrir); (鳥が果・卵・ひなを)捨てる。

~*se* うんざりする、飽きあきする。 [ble]。

abhorrecible *adj.* 憎らしい、憎むべき (=abomina-

abhorrecimiento *m.* 憎しみ、嫌悪 (=anti-

patía)。 [Contr. cariño]。 [古] 倦怠。

abhorregar *tr.* 8. *Méx.* (刈った麦を)重ねる。

~*se* うす曇る; ぼける。 *Amér.* おじける。

abhorrezc- → **abhorrecer** 31。

abhorricarse *r.* 8. *Amér.* 粗暴になる。

abortamiento *m.* = **aborto**。

abortar *tr.* 流産させる。 — *intr.* 流産する; 失

敗する; 自然に消滅する。 [植] 發育不全に終る;

(病気が)頓座する。

abortivo, va *adj.* 流産・早産の、堕胎の: *prác-*

ticas abortivas 堕胎。 — *m.* 堕胎剤。

aborto *m.* 流産; 早生児; できそこない。

abortón *m.* (動物の)月足らず子; 早産の羊の革。

aborujar *tr.* (...に)寄り・かたよりを作る。

~*se* 寄り・かたよりができる; 身を包む。

abosar *tr.* *Cuba.* (疲れた闘鶏に)勢いをつける。

~*se* *Cuba.* 勢いを盛りかえしていく。

abostezar *intr.* 9. *Chile.* あくびをする。

abotagarse *r.* 8. ふくらむ、はれる。

abotargarse *r.* 8. [俗] = **abotagarse**。

abotijarse *r.* [方] = **abotargarse**。

abotinado, da *adj.* 半長靴形の; ボタン止めの:

abotonador *m.* ボタン掛け(具)。 [pantalón ~]

abotonar *tr.* ボタンを掛ける。 *Méx.* (導水管を)ふ

さぐ。 — *intr.* 芽を吹く。 ~*se* ボタンをかける。

abovedar *tr.* (...に)丸天井を張る; 丸天井にす

る; まるく蔽う。

ab ovo *adv. lat.* 最初から、太古から。

aboyado, da *adj.* 耕牛つきの(貸し農地)。

aboyar *tr.* 浮標 (boya) で標識する, (...に) 浮標

をつける。 — *intr.* 浮ぶ、ただよう (=flotar)。

abozalar *tr.* (...に)口籠(く)をはめる。

abr. *abr. de* abreviatura; abril。

abra *f.* 入江、小さな湾; (大地の)亀裂; 谷間、山

峡。 *Col. 屏. Amér.* 開豁地。

abracadabra *m.* 病気よけ

の呪文の一種。 →

abracadabrante *adj.* [俗]

めっぽうな、とほうもない、べらぼう

な。

abracar *tr.* 7. *Amér.* 抱く、かかえる (=abracar)。

abrace- → **abrazar** 9。

abracijo *m.* [俗] 抱擁。

Abraham *m.* [聖] アブラハム (Isaac の父で、ユダ

Abrahán *m.* = **Abraham**。 [ヤ人の祖]。

abrahonar *tr.* 抱きしめる。

Abran *m.* = **Abrahán**。

abraque- → **abracar** 7。 「うに怒った。

abrasado, da *adj.* 焼けた; 恥じ入った; 火のよ

abrasador, ra *adj.* 焼く、焼くような。

abrasamiento *m.* 燃焼; 赤面。

abrasar *tr.* 焼く; 消費し尽す (=consumir); (植

物が暑気・寒気のために)やける; 赤面させる。

~*se* 焼ける; 燃えたつ、もたえる、身をこがす: ~*se*

vivo de amores (恋に身もたえする), *en deseos*。

abrasilado, da *adj.* すおう・蘇芳色の、赤い。

abrasión *f.* (皮膚の)すりむけ、剝離(はく); 擦過傷;

けずり取り; 摩滅、摩損。 [地質] 磨耗、風食、海食。